

# 沙流川

保護者向け校長通信

NO. 14

発行日  
令和6年 2月5日

## 新しい年を迎えて

新年、明けましておめでとうございます。

本来であれば、明るい1年になることをお祝いする内容とするところですが、1月1日に発生した「能登半島地震」により、被災された皆様へ、哀悼の意を表すとともに、被災地において、未だに、避難所等での生活を送られている皆様に対しても、1日でも早い復興と日常の生活が戻ってくることをお祈りしております。

富川小学校は、1月18日（木）に、予定通り3学期がスタートしました。この予定していたことが予定通りに行われることに対して、喜びを感じなければいけないと感じています。普段一緒に生活している家族が、同じ空間で生活していること、毎日の食事や入浴などが、普通にできることが、どんなに幸せなことかを改めて感じたところです。ですから、当たり前のことが当たり前にできることを「幸せ」と感じてほしいと、始業式のあいさつの中で子どもたちにお伝えしました。

昨年12月に、年度末の「学校評価」を行いました。今年度の富川小学校の取組の成果と課題を洗い出し、次につなげるためのものです。職員評価、保護者アンケートを5段階評価で行った結果、全体の評価の平均は、3.5を上回ることができました。保護者の皆様のご理解とご協力に合わせ、職員の子どもを中心に据えた献身的なご指導のおかげと感謝しているところです。

今年の保護者アンケートの「次年度、学校に要望すること」は、以下の内容となっています。昨年度は、「学力向上」が1番でしたが、1番と2番が逆転しました。

- 1 いじめ防止・よい人間関係
- 2 学力向上
- 3 基本的な生活習慣

これは、「いじめ」による自殺等の報道が多く、「命に関わる問題」という保護者の心配や多様性を認め合う中で、コミュニケーションを図っていくことの難しさ等が背景として考

えられます。本校のいじめ対策は、学級担任や生徒指導が中心になり、組織的に対応を図っています。いじめを把握した場合、生徒指導部や管理職に報告し、対応の仕方を協議し、事実関係を把握し、被害児童も加害児童も保護者に報告するようにしています。そして、そのいじめが解消したと判断するときは、本人と保護者から「いじめは継続されていません」という報告を受け、実際に経過を観察し、実態がなければいじめは解消となります。また、重大事案になった場合は、警察や教育委員会等関係機関とも連携して対応していきますのでご安心ください。誠意をもった対応を図っていきます。